

## &lt;自主検査完了ユニット毎の検査結果&gt;

## ◇堺港発電所5号機

検査期間：平成16年10月29日～平成16年10月31日  
平成17年4月18日～平成17年6月15日

検査箇所数：820箇所

計算必要厚さを下回る箇所数：4箇所

## &lt;部位名&gt;

①給水ポンプ再循環弁<sup>\*</sup>後のレジューサ部

<sup>\*</sup>ユニット起動・停止時及び部分負荷時において給水ポンプの最低流量を確保するための系統

②ボイラドレン系統<sup>\*</sup>のレジューサ下流部

<sup>\*</sup>起動工程において、ボイラのドレン（凝縮した水）を回収する系統

③主給水系統<sup>\*</sup>のレジューサ部

<sup>\*</sup>ボイラに水を供給する配管

	外径 (mm)	最高使用 温度(設計) (°C)	最高使用 圧力(設計) (MPa)	公称肉厚 (mm)	計算必要 厚さ (mm)	測定最小値 (mm)	発表日
①	89.1	178	26.7	15.2	10.5	7.2	H16.11.1
②	89.1	350	0.08	5.5	3.0	2.4	今回発表分
③	406.4	278	19.2	25.4	24.6	23.0	
	406.4	278	19.2	37.0	31.2	30.3	

## ◇南港発電所2号機

検査期間：平成16年11月8日～平成16年11月9日  
平成17年3月16日～平成17年4月22日

検査箇所数：1,074箇所

計算必要厚さを下回る箇所数：なし

## ◇海南発電所3号機

検査期間：平成16年12月9日～平成17年2月2日  
平成17年3月7日～平成17年3月14日  
平成17年5月12日～平成17年5月18日

検査箇所数：1,172箇所

計算必要厚さを下回る箇所数：4箇所

## &lt;部位名&gt;

①起動バイパス系統<sup>\*</sup>の曲管部

<sup>\*</sup>起動過程において蒸気温度上昇中に過熱器へ給水を流す系統

②給水ポンプバランス配管<sup>\*</sup>のエルボ下流部

<sup>\*</sup>ポンプ内部の圧力を平衡させるために給水を供給する配管

	外径 (mm)	最高使用 温度(設計) (°C)	最高使用 圧力(設計) (MPa)	公称肉厚 (mm)	計算必要 厚さ (mm)	測定最小値 (mm)	発表日
①	355.6	446	27.9	48.0	45.1	43.0	今回発表分
	323.9	446	27.9	43.6	41.2	40.2	
②	89.1	180	2.3	5.5	3.0	2.8	
	89.1	180	2.3	5.5	3.0	2.5	

◇姫路第一発電所5号機

検査期間：平成16年10月6日～平成16年10月15日  
平成17年3月29日～平成17年6月16日

検査箇所数：2,093箇所

計算必要厚さを下回る箇所数：4箇所

<部位名>

①高圧節炭器\*入口給水管の流量測定用フローノズル下流部

※燃焼ガスの保有する熱を利用してボイラの給水を予熱するために設けられた伝熱面群

②高圧給水ポンプ再循環系統\*のエルボ部

※ユニット起動・停止時及び部分負荷時において給水ポンプの最低流量を確保するための系統

③高圧給水ポンプ出口配管\*のエルボ部

※ボイラに水を送るポンプの出口配管

	外径 (mm)	最高使用 温度(設計) (°C)	最高使用 圧力(設計) (MPa)	公称肉厚 (mm)	計算必要 厚さ (mm)	測定最小値 (mm)	発表日
①	165.2	236	24.5	18.2	15.53	15.5	H16.10.9
	165.2	236	24.5	18.2	15.53	15.5	
②	165.2	150	0.1	11.0	3.8	3.0	今回発表分
③	165.2	236	24.5	18.2	15.6	15.5	

◇姫路第二発電所2号機

検査期間：平成16年11月7日～平成16年11月9日  
平成17年3月28日～平成17年6月6日

検査箇所数：1,049箇所

計算必要厚さを下回る箇所数：1箇所

<部位名>

①スチームエアヒータ\*ドレン配管のレジューサ部

※ボイラの燃焼用空気を蒸気により加熱する装置

	外径 (mm)	最高使用 温度(設計) (°C)	最高使用 圧力(設計) (MPa)	公称肉厚 (mm)	計算必要 厚さ (mm)	測定最小値 (mm)	発表日
①	165.2	204	0.69	7.1	3.8	1.3	今回発表分